

臼田地区小学校建設候補地のメリット等（表1）

候補地	安全性	環境	まちづくり・地域づくり	通学	経済性・工事の円滑性	その他
あいとびあ臼田の東側		<ul style="list-style-type: none"> 自然環境資源に恵まれている 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校が近くにあり、小中連携がとりやすく、先生同士の児童生徒の情報の共有、授業の進め方等の意見交換が進むので、より質の高い授業ができる あいとびあ臼田を中心に小・中・地域の交流の幅が広がるほか駐車場等にも活用できる 臼田地区の文教施設（文化センター、体育センター等）が集まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨、豪雪等の災害が予想される際、中学生と一緒に早期下校等の処置をとれる 小海線を校外学習等に利用できる 中学生とほぼ同じ通学路で、何かと便利で安心できるほか地域の方の多く目で見守ることができる 4地区の児童の通学距離が総体的に公平に感じられる 		<ul style="list-style-type: none"> 将来的に児童が増えそうな田口地区に統合小学校を建設するのが良い
青沼小学校及び周辺	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い場所である 	<ul style="list-style-type: none"> 北に浅間山、南に八ヶ岳、近くに谷川があるなど、自然が豊かである 豊かな自然環境で、子ども達が将来の夢や希望をもって学べる環境がある ゆとりあるスペースが確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> 中部横断道が開通し、30年、40年後は中京圏、山静圏の玄関となり、佐久市の中心的位置となる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 小海線青沼駅が近くにあるので、小海線が利用できる 		<ul style="list-style-type: none"> 自然体験、果樹栽培、稲作、野菜づくり等の活動ができる のびのび教育、活動が出来る環境にある
コスモホールの西側	<ul style="list-style-type: none"> 災害区域外で避難場所にも適している 災害時の避難場所となる学校は、東と西の2箇所に分けた方が良い 近くに北部消防署、雨宮病院、佐久病院があり、緊急に対応できる 	<ul style="list-style-type: none"> 北に浅間山、南に八ヶ岳があり、日当たりや見晴らしも良く、騒音もない 	<ul style="list-style-type: none"> インター、バイパス等により人通りも多くなり、これからの臼田地域の発展が望める コスモホール、図書館、駐車場等、公共施設の活用がしやすい 中学校が川東にあるので、小学校は川西にあった方が臼田地区の教育という視点から活性化させるには良い 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい道路が計画されており、バス通学者や保護者の送迎に便利が良く、歩道の確保がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 工事用の道路もあり、ライフラインも近くに通っている 	
臼田小学校	<ul style="list-style-type: none"> 災害区域外で避難場所にも適している 千曲川西では臼田支所の小規模化により、広域避難場所としての小学校の必要性は大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 日当たり、見晴らし、騒音、電磁波等がなく環境に問題ない 	<ul style="list-style-type: none"> 臼田地区はコンパクトシティを目指しており、臼田小の近くには病院、商店街、臼田支所、交番があり、学校もその中で有機的に結びつくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 交通量が多いところは、歩道が整備されている 市街地にあるので登下校をはじめ校外活動をする児童を多くの眼で見守ってもらえる 	<ul style="list-style-type: none"> 経済性の観点から既存施設を有効利用し、よりよい施設づくりが可能になる 建設にかかる費用を抑えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 優良農地をつぶすことなく建設できる